

【石垣市】  
校務 DX 計画

1. 現状と課題

令和5年度に統合型校務支援システムと欠席連絡機能を有する保護者連絡システムをすべての石垣市立小学校および中学校に導入し、学校毎に異なっていた校務の在り方を統一することで働き方改革に大きく寄与している。特に統合型校務支援システムはデータの二次利用、三次利用によってこれまで手書きであった様々な帳票を効率化、手作業を大幅に削減しています。また、システム間のデータ連携を順次進めている。

校務 DX チェックリスト（令和6年度・文部科学省）においては校内での資料共有、押印署名の原則廃止などが全国平均よりも下回っているため、問題点を確認し、着実な実施を目指し取り組んでいく必要がある。

（単位：％）

大分類	小分類	全国	沖縄県	石垣市
教員と保護者間の連絡のデジタル化	欠席・遅刻・相対連絡	76	83	93
	お便りの配信	49	78	89
	調査・アンケートの実施	61	77	79
教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化	各種連絡事項の配信	28	34	54
	調査・アンケートの実施	54	73	64
学校内の連絡デジタル化	校内での資料共有	77	80	75
	校内での情報共有	77	87	86
	調査・アンケートの実施	67	86	82
その他	FAXの原則廃止	23	24	36
	押印・署名の原則廃止	7	2	0

※「半分以上がデジタル化」と回答した割合

2. 今後の計画

(1) 新任者用のマニュアル策定

教育 ICT 環境の概要、各システムなどの使い方などを統合したマニュアルを策定し、全体的見通しが立てられるような環境を提供する。

(2) クラウドで完結するような仕組みの取り組み

クラウド活用で校務効率化を図る。資料共有はクラウドストレージや共同編集ツールを活用し迅速化し、電子印鑑や署名で押印制度を見直しペーパーレスを推進する。

(3) ロケーションフリー

校務 DX の推進により働く場所が限定されることが無いように教職員のワークライフバランスを第一に考えた取り組みを実施する。

(4) 次世代校務支援システムの導入

令和8～10年度で県域導入を進めており、本市は令和9年度より運用開始する。